

災害復興事業で整備された土地を有効活用

発電規模 10 メガワットの佐用・IDEC 秀谷太陽光発電所を設立

兵庫県佐用郡佐用町（町長：^{あんざこのりあき}庵谷典章）と IDEC 株式会社（大阪市・代表取締役会長兼社長：船木俊之）が出資する佐用・IDEC 有限責任事業組合は、佐用・IDEC 秀谷太陽光発電所を設立し、2019年7月17日（水）より発電を開始いたします。

佐用・IDEC 有限責任事業組合は、2014年10月に国内初となる木造建築を採用したメガソーラー施設として、発電規模 5 メガワットの佐用・IDEC 中山太陽光発電所を設立しており、大規模な発電所としては 2 つ目の施設となります。また、佐用・IDEC 秀谷太陽光発電所の発電規模は 10 メガワットと、佐用・IDEC 中山太陽光発電所の約 2 倍となります。

建設地は、佐用町も大きな被害を受けた 2009 年 8 月の豪雨による大水害の、災害復興事業で整備された残土処分地を有効活用するなど、地域の復興支援にも貢献しております。



佐用・IDEC 秀谷太陽光発電所

事業の概要

名称	佐用・IDEC 秀谷太陽光発電所
主体	佐用・IDEC 有限責任事業組合
設置場所	佐用郡佐用町佐用字秀谷 2695-219 他
土地面積	282,894 m ²
発電規模	10 メガワット
年間予測発電量	1,098 万 Kwh
パネル枚数	33,720 枚
請負業者	IDEC システムズ&コントロールズ株式会社
発電開始	2019年7月17日

佐用・IDEC 有限責任事業組合について

有限責任事業組合契約に関する法律に基づき、2013年3月に「佐用・IDEC メガソーラー有限責任事業組合」として設立いたしました。組合で取り組む第一弾の事業として、全国的にも珍しい木製架台を採用したメガソーラー施設を 2014 年 10 月に建設し、発電・売電事業を行っております。

また、2016 年 7 月に名称を「佐用・IDEC 有限責任事業組合」に変更いたしました。佐用町の三土中学校の跡地を活用し、プレミアムトマト「夢茜」の生産やトマトジュースへの加工を行う、次世代農業プラント「佐用まなび舎農園」も 2017 年 3 月より運営しております。

■ 佐用町・IDECの概要

■ 兵庫県佐用郡佐用町

- (代表者) 佐用町長 庵谷典章 (あんざこのりあき)
- (発足) 2005年10月1日
- (人口) 16,848人 (2019年3月31日現在)
- (世帯数) 6,876世帯 (2019年3月31日現在)

■ IDEC株式会社

- (社名) IDEC株式会社
- (代表者) 代表取締役会長兼社長 船木俊之 (ふなきとしゆき)
- (創業) 1945年11月
- (資本金) 10,056百万円
- (従業員数) 連結3,654名 (2019年3月31日現在) ※特定社員・臨時社員含まず
- (上場取引所) 東京証券取引所第1部

■ 本件に関するお問い合わせ先

■ 佐用町役場企画防災課

佐用町役場企画防災課 担当：久保
〒679-5380
兵庫県佐用郡佐用町佐用 2611-1
TEL(0790)82-0664
FAX(0790)82-0492
E-mail: kubo-m@town.sayo.lg.jp

■ IDEC株式会社

経営戦略企画部 担当：元山
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原 2-6-64
TEL(06)6398-2505
FAX(06)7662-7551
E-mail:r.motoyama@jp.idec.com

以上